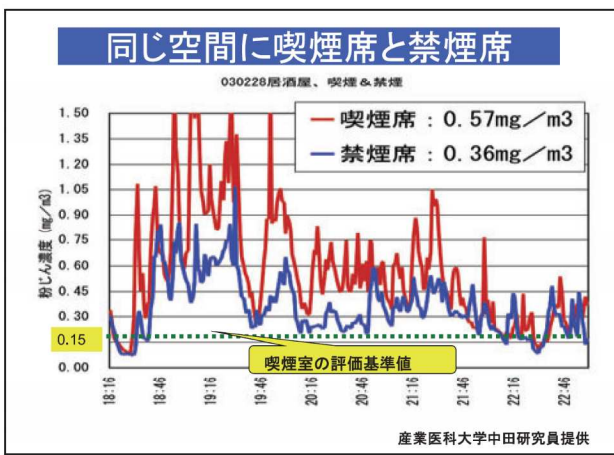
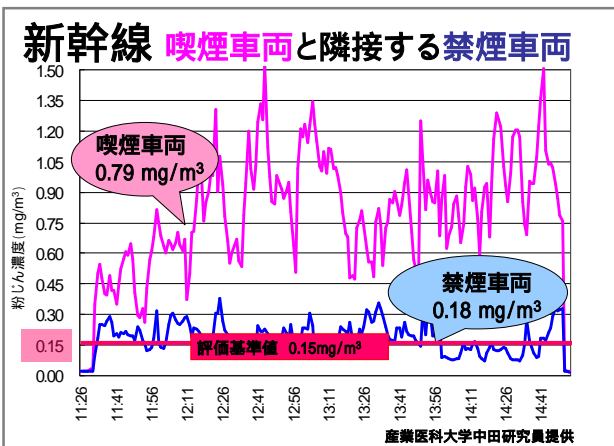


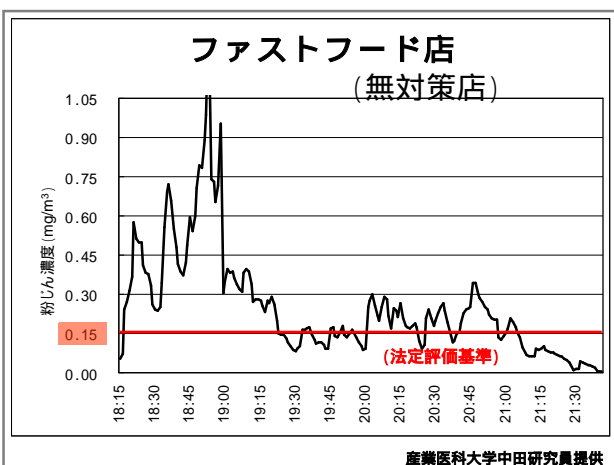
よくある分煙のレストランのレイアウトです。
場所ですべて区切っていますが、空気は部屋の中を循環しています。



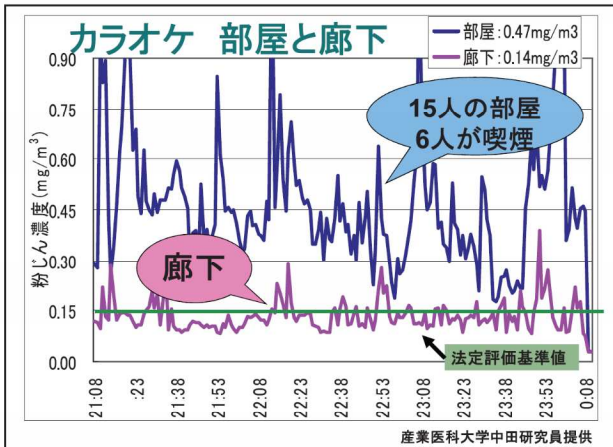
先程のような分煙のレストランで粉じん濃度を測定すると、禁煙席でも粉じんが舞っていることが確認できます。



かつて新幹線には禁煙車両と喫煙車両がありました。その間には扉で仕切りがありましたが、それでも、禁煙車両にも基準値を超える粉じんが測定されていました。



このグラフは、子ども連れが多いファストフード店の粉じん濃度です。
法定基準値をはるかに上回っています。
幼児を連れた母親が食事をし、食後に子どもの前でたばこを吸っている姿が見られました。



カラオケ店でも、廊下には基準値を超える粉じんが測定されました。

調査結果について考えてみよう！

完全に分煙していないお店

喫煙車両の近くの禁煙車両

受動喫煙の可能性

たばこの煙に
近づかないようにしましょう！

粉じんの調査結果について考えてみましょう。完全に分煙していないお店や、喫煙車両の近くの禁煙車両では、受動喫煙の可能性があることが分かりました。

受動喫煙を防ぐためにたばこの煙に近づかないように日頃から意識しましょう。

たばこを吸っている大人が近くにいたら、勇気を出して「私の近くで吸わないで」と言ってみよう！



たばこを吸っている大人が近くにいたら、勇気を出して「私の近くで吸わないで」と言ってみよう。

自分の健康は、自分で守りましょう。